

【 第15回 女子ジュニアアジア選手権 】

2019年7月20日～7月29日 レバノン・ベイルート

試合結果報告 7 月 29 日 (月)

JAPAN	vs	韓国
11	1st	16
8	2nd	10
	ex	
	ex	
19	TOTAL	26

個人得点

No.	NAME	1st	2nd	ex	ex	TOTAL
1	榎 真菜	0	0			0
2	田淵 美沙	2	0			2
3	上田 遥歌	1	0			1
4	阿部 美幸	0	0			0
5	谷藤 悠	0	1			1
7	服部 沙也加	0	0			0
8	弓削 春風	0	0			0
9	岡田 彩愛	2	5			7
10	平野 宗香	0	1			1
11	守屋 葵	1	0			1
12	大山 めい	0	0			0
13	安田 つぐみ	2	1			3
14	瀧川 璃紗	1	0			1
15	宇治村 唯	0	0			0
16	上嶋 亜樹	0	0			0
18	竹内 琉奈	2	0			2
TOTAL		11	8	0	0	19

戦況

アジアジュニア選手権最終戦は、韓国との対戦。開始早々、竹内のサイドと相手ミスからの速攻で連続得点。対する韓国も右バック・Jeongのアウトカットイン、右サイド・Kimのサイドにより2得点し、拮抗した立ち上がりとなった。

しかし、日本は、韓国の2枚目が高めの6-0DFにパスリズムを狂わされ、うまく攻めることができず、ミスからの失点を重ねてしまう。前半12分、4-7と韓国に3点リードされたところで日本はタイムアウトを取り、攻撃のきっかけを確認。タイムアウト明けに、右バック・安田のロングが連続で決まり、勢いに乗るかに見えた。

しかし、韓国のバックプレーヤー陣のロングとポストシュートを止めることができずに、前半を11-16の5点ビハインドで折り返す。

後半の日本は、立ち上がりからミスが目立ち、最初の10分間は沈黙、得点を挙げるできない。この間に韓国は、右サイド・Kim、センター・Sonらの活躍により3連続得点し、11-19とリードを広げる。

ここで再びタイムアウトをとった日本は、7人攻撃を仕掛ける。安田、岡田、平野、谷藤などの活躍でお互いに点を取り合う展開が続くが、前半の得点差を埋めることができずに19-26で敗れ、今大会を2位で終えた。

報告記入者 :

永野 翔大